

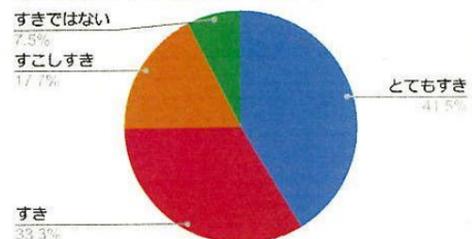
研推だより

令和5年8月29日(火) NO.3
府中市立府中第二小学校
研究推進部

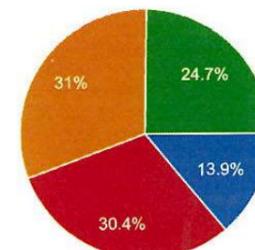
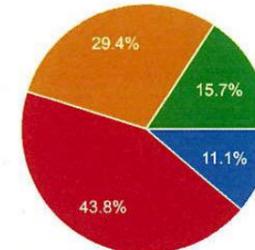
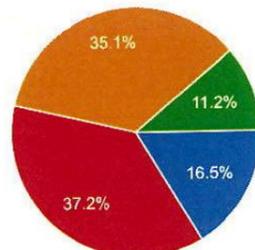
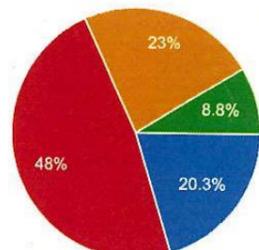
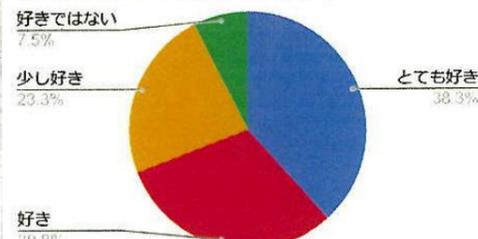
【国語について】(グラフは左から1年→2年→3年→4年→5年→6年の順)

「国語の学習は好きですか」「国語の学習はよくわかりますか」「本を読むことは楽しいですか」

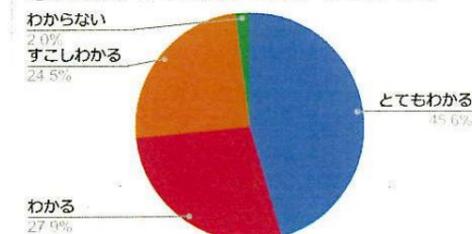
①国語の学習は好きですか



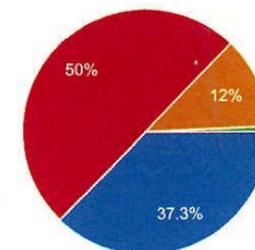
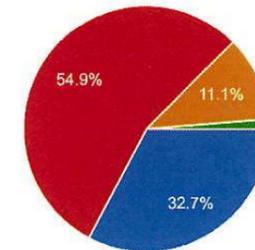
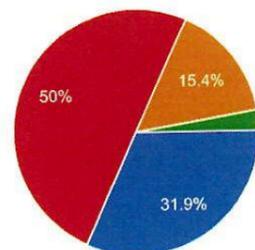
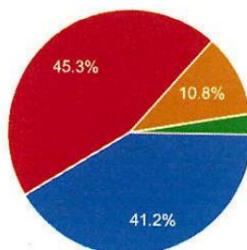
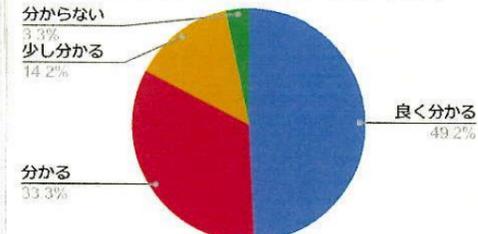
①国語の学習は好きですか



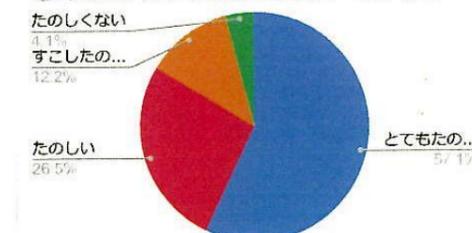
②国語の学習はよくわかりますか。



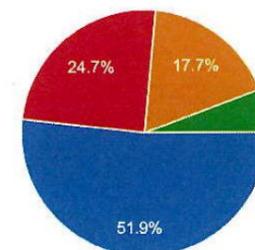
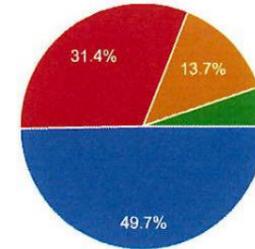
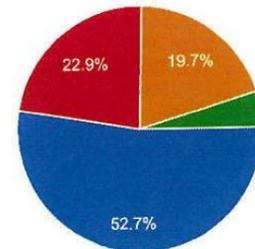
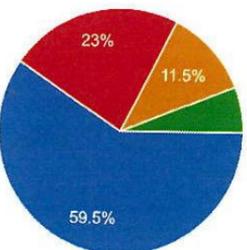
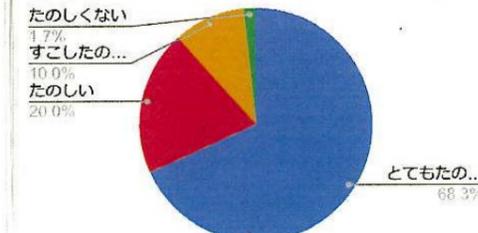
②国語の学習がよくわかりますか。



③本をよく読むことはたのしいですか。



③本をよく読むことはたのしいですか。

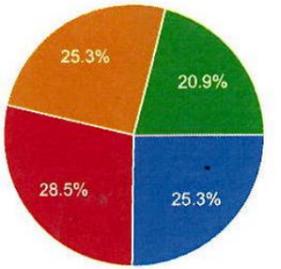
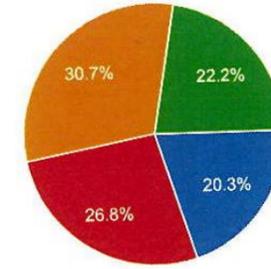
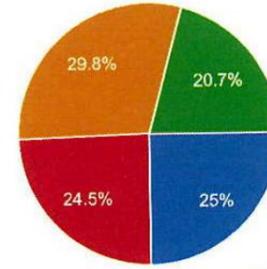
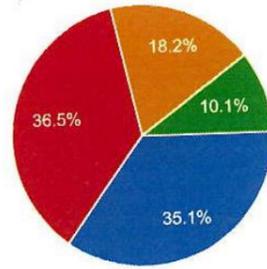
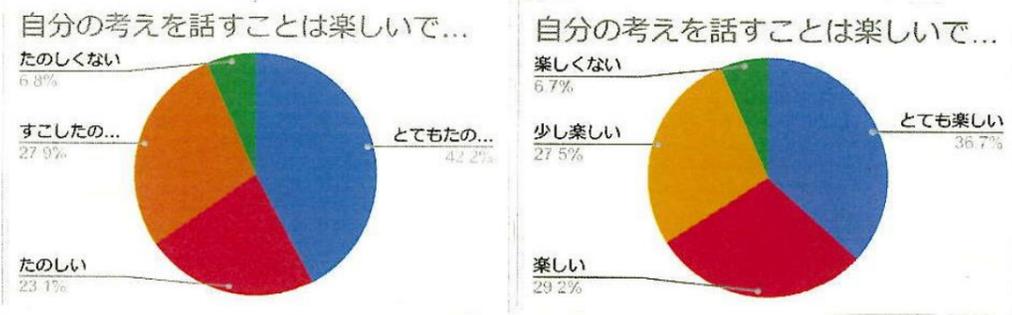


- ・学年が上がるにつれて、「好きではない」の割合は増加しているものの、全学年において半数以上が「好き」と回答している。
- ・全学年において、「わかる」の割合が非常に高い。「わかる」か、どうかは、国語の学習が好きかということにはつながっていないと考えられる。
- ・本を読むことに対して、全学年75%以上が「とても楽しい」「楽しい」と回答している。

➡二小の児童は国語の学習が好きだし、よくわかると思っている子が多いです！図書や読み聞かせの時間も大事にしていきたいですね！

【話すことについて】（グラフは左から1年→2年→3年→4年→5年→6年の順）

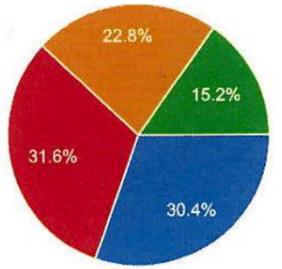
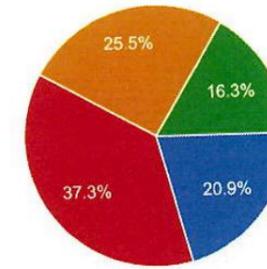
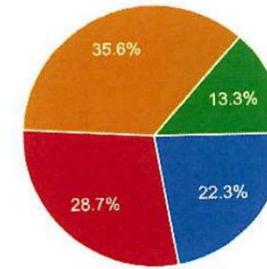
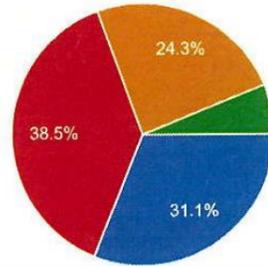
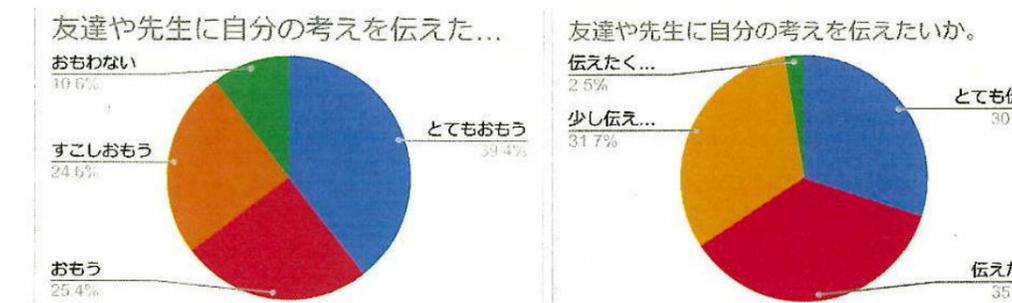
「自分の考えを話すことは楽しいですか」



「楽しくない」と答えた理由(抜粋)

- ・自分の意見がおかしくて笑われるのが嫌だ。
- ・自分が言ったことが皆に伝わらなくて変な風に思われたり、間違えたりして、皆に笑われたりしたら嫌だから。
- ・考えが違う人が何人もいたときに批判が起きるから。

「友達や先生に自分の意見や考えを伝えたいと思いますか」



- ・1～3年生までは、「とても楽しい」「楽しい」と回答した児童が70%を超えるのに対して、4年生以上になると50%付近と下がる。学年が上がるにつれて、話すことに対する抵抗感が高まっている。
- ・中学年後半からは、学習内容的に他者と考えを持ち寄り、一つの考えにまとめたり、「どれが一番分かりやすいか」などといった視点で話し合ったりする場面が急に増える。その際に自分の考えが取り入れられなかったり、批判されてしまったりするのではないかという思いから、授業内で「話すこと」への抵抗感が高まっていることが考えられる。
- ・「話すこと」に抵抗感はあるものの、「友達や先生に自分の意見や考えを伝えたい」と考えている児童の割合が高い。

⇒ 低学年段階から簡単な内容で合意形成する経験を積んで、抵抗感を下げる。

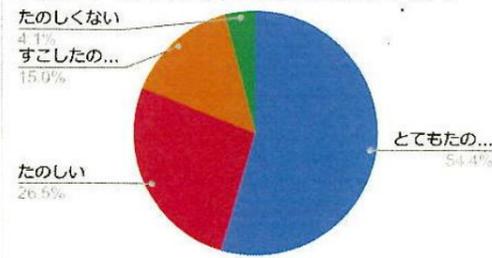
(例①クラス全体で飼っている金魚の名前を考える 例②「好きな給食ベスト3」を少人数で話し合っ決めて等)

- ・相手の話の反応の仕方や受け止め方などを身に付けさせていく。
- ・「伝えたい」という思いが、さらに高まるような「話題設定」、「場面設定」などを工夫していく。

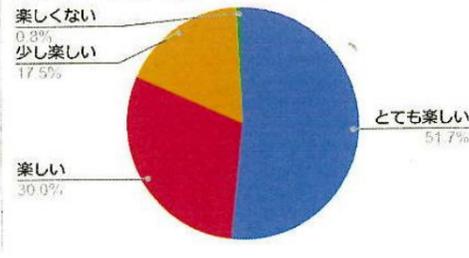
【聞くことについて】（グラフは左から1年→2年→3年→4年→5年→6年の順）

「友達の考えを聞くことは楽しいと思いますか」

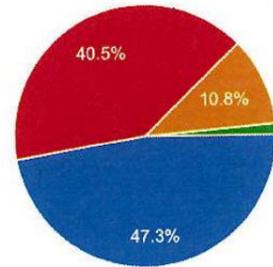
友達の考えを聞くことは楽しいか。



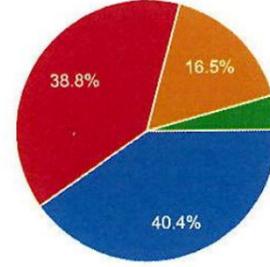
友達の考えを聞くことは楽しいか。



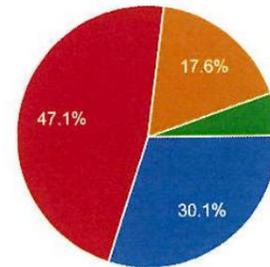
148 件の回答



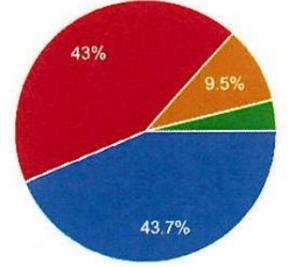
188 件の回答



153 件の回答



158 件の回答

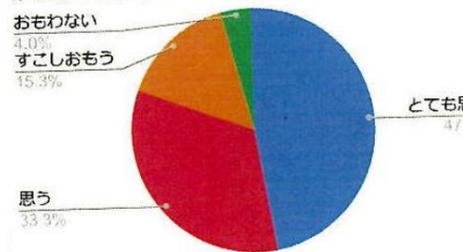


「楽しくない」と答えた理由(抜粋)

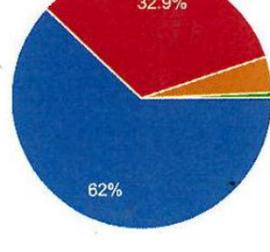
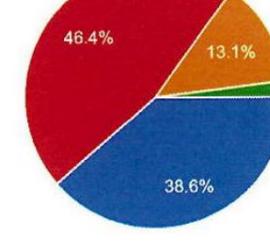
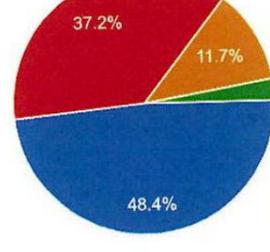
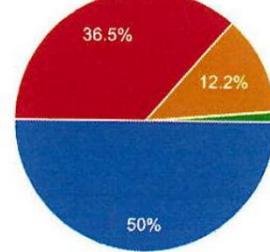
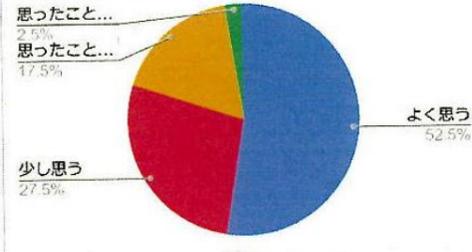
- ・もし自分と同じ意見だったら安心できるし、違う意見でもその相手の意見を知ることができるから。
- ・友だちの意見を聞くことで、新たな考えに繋がったり、そういう考えもあるのか!と気づくことができたり、考えが深まったりすることがあるから。
- ・意見を見直すことができるから

「友達の意見や考えを聞いていいなとおもったり、なるほどとおもったりすることがありますか」

友達の意見や考えに納得すること...



友達の意見や考えに納得すること...

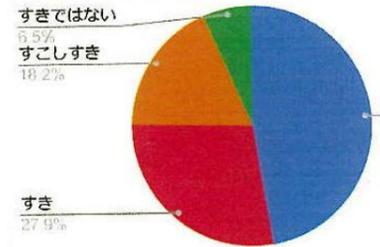


- ・全学年において90%以上の児童が、他者の考えを「聞くこと」に対して楽しさやその有用性を感じている。
- ・楽しさを感じている理由として、「聞くこと」によって、「自分の考えに自信がもてた」、「自分では思いつかなかった新しい考えを知れた」、「新たな考えを自分の考えに取り入れることで、より良い自分の考えにすることができた」というものが多い。
- ➡・他者の考えを聞く場面を積極的に設定していく。
- ・他者の考えを聞く際には、「自分の考えをより良くするために」といった目的や「自分の考えと同じかどうか」などといった視点を教師が示すことで、より聞くことの価値を実感させていきたい。聞くことで自分の考えが強まった、変わったなどの変容を振り返らせることも有効かもしれない。

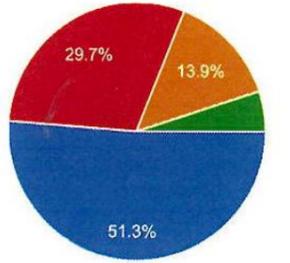
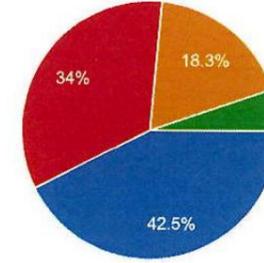
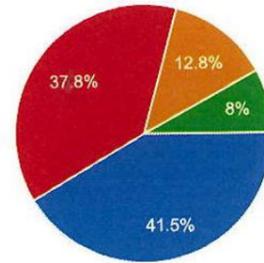
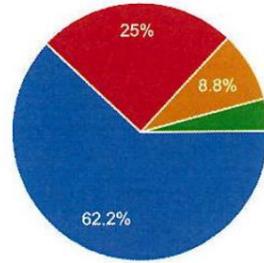
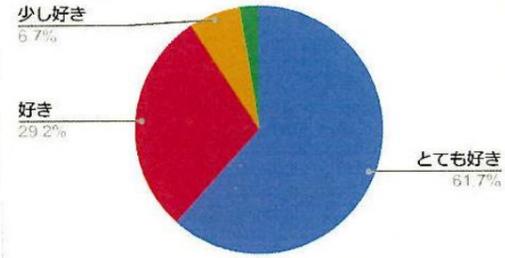
【話し合うことについて】（グラフは左から1年→2年→3年→4年→5年→6年の順）

「友達と二人で話したり、話し合ったりすることは好きですか」

2人で話すこと

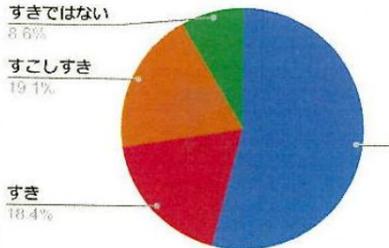


2人で話すこと

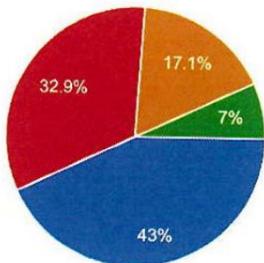
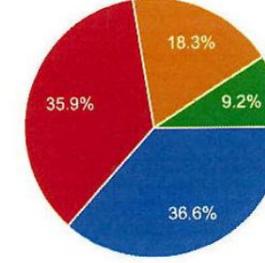
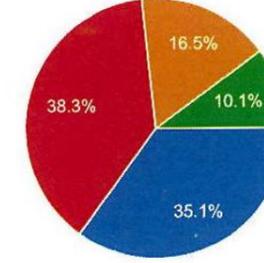
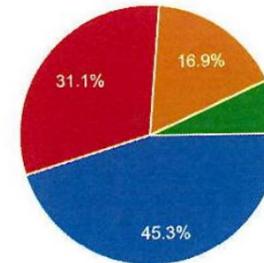
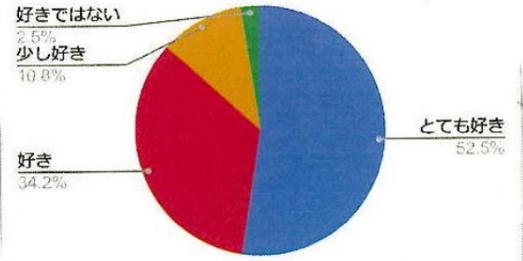


「4人程度のグループで話したり、話し合ったりすることは好きですか」

4人グループで話すこと

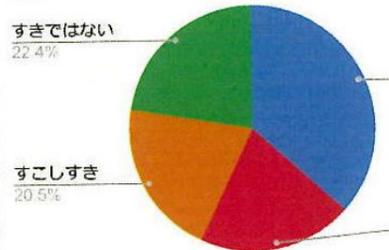


4人グループで話すこと

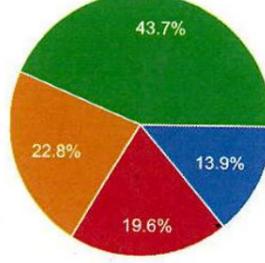
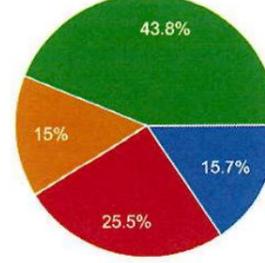
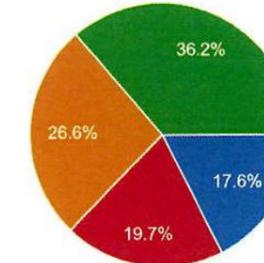
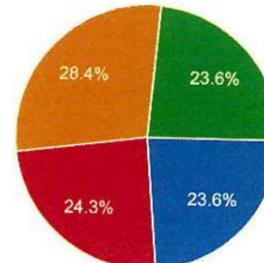
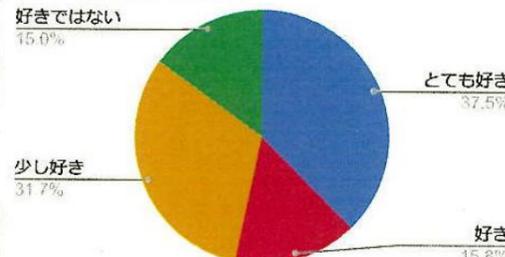


「クラス全員の前で話したり、話し合ったりすることは好きですか」

皆の前で話すこと

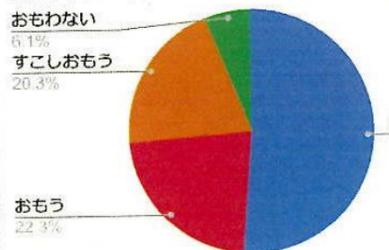


皆の前で話すこと

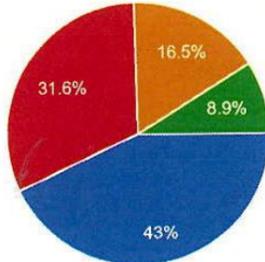
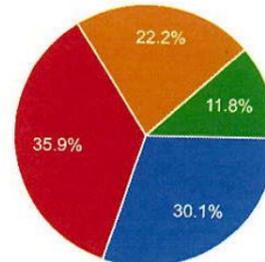
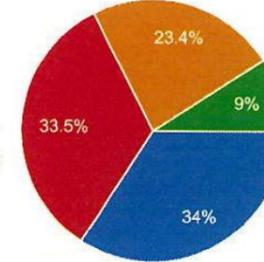
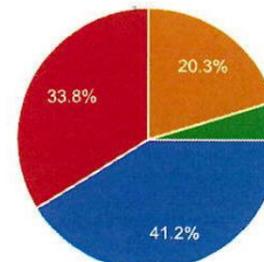
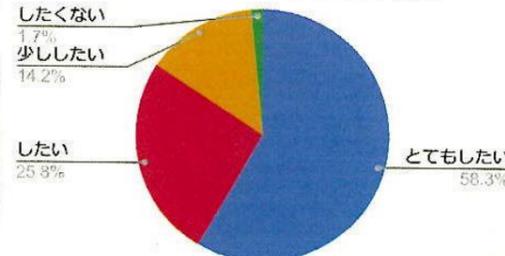


「友達と話し合う学習をもっとしたいと思いますか。」

話し合う学習をもっとしたいか。



話し合う学習をもっとしたいか。



・2～4人で話し合うことに比べ、クラス全員の前で話したり、話し合ったりすることについて、「好きではない」と回答した児童の割合が高い。また、話し合う学習についても、もっとしたいと考えている児童の割合も高い。

⇒2～4人の少人数→全体という風に話し合う時間を設定していく。